

日本周産期精神保健研究会 第9回地方セミナーin岐阜

この研究会は、周産期・新生児医療の場に携わるさまざまな職種の人々が集い、赤ちゃんと家族が生まれ育っていく過程への支援のあり方を研究・実践することを目的にしています。

併催：第5回ぎふ周産期こころの研究会
Gifu Society of Perinatal Mental Health

開催のご案内 ～第3報～



周産期医療の現場で働く
全ての人
もつともつと
患者さん、ご家族に
寄り添えるように
悩みを語り合えるように

自分のいのちと
向き合うことが
できるように

私たちは
「こころの学び」を
始めます

(ぎふ周産期こころの研究会宣言)

メインテーマ

『多くの目と手と心で繋ぐ、小さいのちの物語』

18トリソミーとして生まれた人生を、
家族とともに地域の中で生き抜いた小さな女の子。

この子と家族の幸せを願って活動した多くの医療福祉関係者の取り組みと
家族の物語について、語り、感じ、考えあいたいと考えています。

第一部 基調講演1；松井 晃さん
(総合母子保健センター愛育病院 臨床工学技士長)

「子どもが好きだから」 ～病院のおとうさんとして、私にできること～

基調講演2；服部 京子さん
(大垣市民病院 認定看護管理者 NICU/GCU師長)

「NICUから地域・在宅への退院支援」

第二部 ワールドカフェ

「家族の幸せとは何か？」

第三部 公開対談「市郎の部屋」；

「すべてのいのちが祝福される社会に」

アンカー；川緒市郎先生 (元長良医療センター周産期診療部長)

世話人； 長良医療センター産科 高橋雄一郎
岐阜県総合医療センター新生児内科 寺澤 大祐

2016年10月29日(土) 12:00～17:00

岐阜大学サテライトキャンパス

(JR岐阜駅2階中央北口から徒歩3分、スカイウイング37 4階)

参加費；2,000円、懇親会；4,000円

お問い合わせ先；日本周産期精神保健研究会事務局 pmhjimukyoku@gmail.com
(名古屋大学心の発達支援研究実践センター永田研究室)

参加申し込み・最新情報は [ぎふ周産期こころ](#)

[検索](#)

60名
先着順

申込受付
9/1～10/20